

ライチ特定目的会社

取締役 横山光一 様

意見書

平成 24 年 8 月 16 日

(仮称) 吉祥寺南町 2 丁目プロジェクト
武蔵野市まちづくり条例に基づく
平成 24 年 8 月 2 日の基本構想説明会に出席して

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 2-4-6 田中フラット 201

吉祥寺末広協栄商店会会長 田中潔

suehiro.kyoei@gmail.com

TEL 0422-26-6626

FAX 0422-26-6627

はじめに

当該ビルの立地は、当商店会と地域住民のメイン通りである末広通り入口に位置しています。末広通りは、平成20年度に武蔵野市によって電線類地中化工事と車歩道の分離、道路舗装のブロック化が行われました。当商店会も2千8百万円の予算を投じ、地域内夜間照明イメージ統一、昼間のイメージ向上のために街路灯・シンボル塔を設置しました。その結果、放置自転車90%減少、違法駐車激減、地域関係以外の車通通行量激減という効果があり、歩行者は以前の数倍に増加しました。

末広通りには両側に歩道がありますが、吉祥寺大通りとの交差点には、北側の歩道と繋がる横断歩道しかありません。したがって、吉祥寺駅南口方面から来る歩行者も、北のJR高架方面から来る歩行者も、末広通りへ入るには必然的に当該ビル南側の歩道を通ることになります。商店街・生活道路への首根っこの位置に、頻繁に利用され、しかも甚だ非効率で時間の掛かる駐車場出入口が設置されるということは、大きなマイナス要因であり、当該ビルが地域経済に好影響を与える場合を考慮に入れても、決して歓迎できるものではありません。

1. 駐車場出入口位置と駐車場システムについて

出入口共にビル南側末広通りに面しているが、一方通行で幅4mの車道一車線しかなく、しかも吉祥寺大通りとの交差点から15m程しかない。入庫待ちの車が2台しか停まれず、1台でも停れば一般の通行する車は追い越すことも出来ず、末広通り入口で中途半端な状態で停まってしまう。つまり、歩道上あるいは交差点の中で身動き取れない状態のまま信号が変わってしまう、ということが日常的に繰り返され、歩行者にとっても危険な交差点になる事が必至であります。

開発事業者側は、上記のような渋滞が発生する場合は、近隣の場所に別途駐車場を確保し誘導する予定があると言うが、そのような場所(土地)は限られており、約束の実行は心もとない。必要ならば実現できるという担保はあるのだろうか。

この駐車場のシステムは、車両用ターンテーブルが1階と地下1階の2ヶ所にあり、車両の方向転換を二回、二つのエレベーターを乗り換えて地下2階のストックスペースへ移動するように理解できる。しかも、入出庫ルートが全て共通で一つしかない。これはスペースの節約にはなるが、車両1台あたりの入出庫に掛かる時間は相当長くなるシステムであろう。1階売り場面積を犠牲にしてでも、もっとシンプルな駐車場システムを導入すべきと考えます。

そもそも、後から外部駐車場を確保する予定があるならば、設計段階から外部駐車場を計画に組み入れ、内部駐車場システムの仕様変更をするべきと考えます。また、駐車場システムの違いによる、車の出し入れにかかる所要時間を比較検討できる資料の提出は必要です。

2. 行政や吉祥寺の交通システムとの関わり

当該ビルの西側、吉祥寺大通りは片側3車線で、外側車線は両側ともに、タクシー乗り場と待機する車線となっています。そのために、車両がJR高架下から南へ行き、末広通りへ左折し当該ビル駐車場へ入庫する場合、タクシーが一日中並んでいるため、左側車線からではなく、中央の車線からいきなり左折して末広通りに入らざるを得ない状況です。吉祥寺大通りから末広通りへ入る車両が少ない現状のままならまだ良いが、当該ビルが完成して末広通りへ入る車両が増えた場合、この基本構想の位置に駐車場出入口があれば、交差点内で大きな混乱を招くと思われれます。

そもそも吉祥寺クラスの街で、同じ道路の両側がタクシー乗り場・待機場になっている状況はかなり変則的だと思います。これまで末広通りへ入る車両が少なかったから成り立つ交通システムであり、当該ビルの完成によって状況は大きく変わること考えなければなりません。つまり、この場にあるタクシー乗り場は移転されるべきと考えます。

当該ビルと、道路反対側で同時期に完工する京王ビル両者の設計を元に、吉祥寺大通りに配置されているタクシー乗り場、シャトルバス・路線バスのバス停を大きく見直すには、武蔵野市・警察・業者・地元商業者団体等との緊密な連絡と議論が必要です。そのための入口として、事業者が地元商業者団体（吉祥寺活性化協議会）へ加盟する事が良いと考えます。

3. まとめ

駐車場出入口が末広通り側に作られる事は、諸事情を考えれば止むを得ないことかもしれませんが、しかし、現基本構想の駐車場システムは、スペースの節約を優先したがために、あまりにも煩雑で時間がかかるものとなっているので、よりシンプルな駐車場システムに変更すべきです。

また、ビル外部にも、スムーズに誘導できる場所に相応の駐車場を確保する必要があると考えますが、狭い末広通り沿いではなく、井の頭通り沿いにすべきです。

ビル西側正面にあるタクシー乗り場と待機車の存在は、当該ビルが完成し車両と人の流れが大きく変わる後には危険な存在となるので、開発事業者は地元商業団体の理解を得ながら、行政や警察に移転を働きかける必要があると思います。もちろん、私たち商店会も協力すべき事です。

①外部駐車場の確保、②駐車場システムの改善、③タクシー乗り場の移転、この三つの要件を満たす事が、末広通り入口交差点付近の交通混乱防止と、歩行者の安全でスムーズな移動を最低限確保出来る条件と考えます。

以上